



自由研究 戦争遺構を調べよう!

※各ページの（）内の番号は請求記号（本のラベルの番号）です。

1 テーマを決めよう

一口に自由研究と言っても、「何をやったらいいかわからない!」と、入口でつまずいてしまう人もいるかもしれませんが、下記のような本が、テーマや表現方法を考えるヒントになるでしょう。

『探究活動・課題研究のために』

佐藤 理絵／監修 日外アソシエーツ 2019 (028/09R/27)

中高生が探究活動や課題研究を行う際に役立つ本の案内・学習の進め方ガイドブックです。テーマのを見つけ方、情報の集め方・整理のしかたなどが解説されています。

（この本は参考図書です。みんなが調べるための本なので貸出はできません。）

『マイテーマの探し方』 片岡 則夫／著 筑摩書房 2021 (375//654)

探究学習を行うためのテーマの探し方や資料の調べ方、引用や出典の書き方など、実例を交えて分かりやすく説明しているので、探究学習を基礎から知る事ができます。



『調べる学習子ども年鑑 2025』 朝日小学生新聞／監修

岩崎書店 2025 (304/シ/)

2024年のニュースが月ごと、教科ごとにまとめられています。

日本や世界の統計情報をまとめた「資料編」や、難しい用語の「用語解説」、索引も収録されているので、興味のあるニュースから自由研究に結びつけられるかもしれません。

『問う方法・考える方法』 河野 哲也／著 筑摩書房 2021 (375//650)

「探究することの意味と楽しさを知ってもらい、探究の仕方を実践的に身につけてもらうこと」を目的として書かれた本書では、探究そのものについての情報だけでなく、文献の探し方や要約の仕方、レポートの書き方などの情報も紹介されています。

『学びの技』改訂版 登本 洋子／ほか著 玉川大学出版部 2023 (002/7/113)

サブタイトルに「14歳からの探究・論文・プレゼンテーション」とあるとおり、テーマの決め方、資料を探す方法、調べたことのまとめかたや発表など、探究学習に必要な事柄を紹介しています。

2 テーマを深めよう

① テーマの概略を調べよう



テーマが決まったらその概略を百科事典、辞書、図鑑などを用いて調べてみましょう。

また、次に挙げる資料などを参考にして、博物館などに行って調べてみるのもよいでしょう。

概略を知ることさらにキーワードを増やすこともできます。

『調べるまとめる発表する調べ学習パーフェクトガイド』

稲葉 茂勝／著 新日本出版社 2021 (375/イ/)

図書館や博物館、公共施設で調べられることや、見学や訪問をする際の手紙の記入例や電話でのやりとりの例などもまとめられています。

インタビューを行う際のコツや用具、情報の記録方法も丁寧に説明されています。

『学校では教えない博物館科学館からはじめる「調べ学習」のヒント100』

講談社／編 講談社 2004 (375/カ/S)

あらかじめ設定されたテーマごとに簡単な解説と対応する博物館や科学館が紹介されています。また、コラム欄には「調べ学習のツボ」として、テーマの選び方や調べ方のヒントが紹介されています。試しにテーマをいくつか拾い出してみると・・・

遺跡、稲作、お金、お盆と七夕、活断層、紙、切手、草木染め、クジラ、黒船、コーヒー、コンピューター・グラフィックス、子午線、正月、新聞、水筒、凧、月、南極、農業、飛行機、ひなまつり、富士山、野球、流水・・・など

② テーマを掘り下げてみよう

魚や鳥の生態や、植物、言語、考古学などのフィールドワークで調べられる分野は様々ですが、ここでは夏休み期間中のテーマとして比較的取り上げられることの多い「戦争」の中から、戦後80年を超えてその記憶も薄れつつある先の大戦に関わる「遺跡（遺構）の調査」をテーマをとします。

『平和を考える戦争遺産図鑑』 安島 太佳由／写真 著、吉田 裕／監修 岩崎書店

2015 (210/ヤ/)

福岡県生まれのカメラマンが撮影した、日本や海外に残る軍事施設や軍需工場、地下壕や要塞などの戦争遺産について、解説文と共に紹介しています。

筑前町立大刀洗平和記念館などの平和資料館の住所や問合せ先をまとめたリストも収録されています。

『シリーズ戦争遺跡』1～5 汐文社 2010 (210/シ/1～5)

「学校・地域に残る戦争のつめあと」(1巻)や「全国空襲・原爆遺跡」(3巻)など、様々な視点で各巻ごとに戦争遺跡がまとめられています。

5巻では大刀洗飛行場など、全国各地に作られた戦争遺跡などがまとめられています。

また、福岡県内の遺跡(遺構)を調査する場合には、下記の本が役に立ちます。

『福岡の戦争遺跡を歩く』 川口 勝彦/ほか著 海鳥社 2010 (219/1/305)

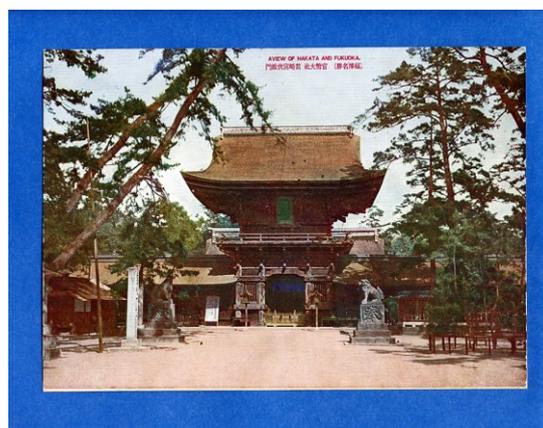
福岡市内に残る戦争遺跡(遺構)を、市内の各区分に整理して紹介しています。

写真や地図も豊富に使い丁寧な解説がついています。

『新編九州の戦争遺跡』 江浜 明德/著 海鳥社 2022 (219/1/342)

九州各地に今も残る戦争遺跡を訪ね、その場所がどのように使われ、どんな歴史を背負ってきたのか、写真とともにわかりやすく解説されています。

福岡県に関する資料については、県立図書館の3階にある「ふくおか資料室」に集めています。
より詳しく調べたい場合はそちらにも行ってみるとよいでしょう。



郷土資料絵葉書「宮崎宮」

さらに詳しく調べてみたいと思った場合は、下記の本をあたってみましょう。かなり詳細な内容ですが、本格的な調査をする際に役に立つでしょう。

『しらべる戦争遺跡の事典』 十菱 駿武/編 柏書房 2002 (210/6R/345-1)

『しらべる戦争遺跡の事典 続』 十菱 駿武/編 柏書房 2003 (210/6R/345-2)

(この本は参考図書です。みんなが調べるための辞書・事典なので貸出はできません。)



先の大戦中に構築された本土決戦陣地、高射砲陣地や特攻兵器出撃基地、トーチカなど豊富な図版で身近な戦争遺跡の調べ方を紹介する全国版ガイドです。

続編では師団・連隊跡、海岸要塞、飛行場、洞窟陣地、奉安殿など遺跡種別に全国網羅。遺跡を歩くフィールドワーク、各県別遺跡所在データ、海外戦跡など一層充実しています。

③ 関連施設を訪ねてみよう

戦争遺跡(遺構)を調査するうえで、下記のような先の大戦をテーマとした施設を訪ねてみることも大変参考になります。

また、施設によっては戦争遺跡(遺構)を回る独自のツアーを企画しているところもありますので、ホームページなどで確認してみるとよいでしょう。



(2026年2月1日確認)

筑前町立大刀洗平和祈念館

<http://tachiarai-heiwa.jp/>



引揚港・博多常設展示コーナー(福岡市)

https://www.city.fukuoka.lg.jp/fukushi/somu/hikiage/hikiagekouhakata_2.html



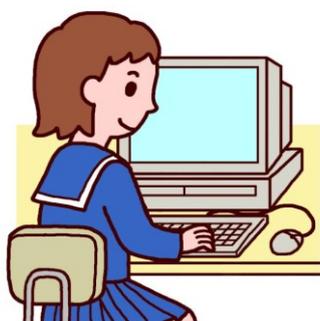
北九州市平和のまちミュージアム

<https://kitakyushu-peacemuseum.jp>



嘉麻市碓井平和祈念館

<https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/27/2935.html>



<調べる時の注意事項>



- ①本に書いてあることもインターネットの情報も全てが正確な情報とは限りません。必ず複数の本・ウェブサイトなどで確認をしましょう。
- ②自分が調べた本はそのタイトル・出版社・出版年を、サイトなどはURL、見た日などを必ず記録しておきましょう。
- ③福岡県立図書館には、調べもの用にインターネット情報を検索できるパソコンがあります。使用する際はカウンターへお尋ねください。

3 集めたデータを編集しよう

集めたデータは他の人が見ても理解できるように整理しましょう。①や②で紹介した本にもまとめ方が紹介されていますが、その他に以下のような本もあります。

『表とグラフを使おう』3

渡辺 美智子/監修 汐文社 2015 (350/ヒ/S)

自由研究や調べ学習に欠かせない表とグラフの読み取り方が、丁寧に解説されています。さまざまな種類の表やグラフを取り上げ、それぞれの特徴が具体例とともに紹介されています。

